

第三回検討委員会の意見まとめ

項目		主な意見	対応
アリーナ機能の必要性について	必要性調査について	稼働率の想定や妥当性が気になる。近隣類似施設の稼働率も参考にすると良い。	今後別事業として検討を実施
	アリーナ整備の方向性について	大中ホール機能を維持しつつアリーナ機能の導入を行うことは困難であるということは全委員の共通認識だと捉えている。	
		アリーナの必要性は認められるものの、計画地内への導入は難しく、計画地外での検討が必要である。	
		アリーナ機能の導入は難しいことが明らかになった。今後の議論は、文化を核としたまちづくりという観点で行っていくことが適切だと感じている。	
		計画地内でのアリーナ機能の導入は難しいものの、静岡市内にはアリーナが必要である。	
		ホール機能の再整備だけでは交流人口増加につなげることは難しいため、アリーナ機能の導入に賛同している。7,000人規模のアリーナを市内に整備するために、東静岡駅周辺等、別の敷地でのアリーナ機能導入検討を行っていただきたい。中央体育館を解体し、アリーナを整備することも考えられる。	
		計画地は景観的に優れた場所であること等も踏まえながら、既存機能の維持を重視し、再整備の検討を行ってほしい。アリーナ機能については、静岡市への効果を考えながら、改めて別の敷地での導入を検討することが必要である。	
		アリーナ機能の導入検討時には、交通の観点等、適切な敷地の探し方には様々な観点が必要だろう。本検討会での議論を引き継いで検討してほしい。	
		Bリーグのホームアリーナとして継続して使用していくためには、適切な場所に設置されることが重要である。アリーナ単独ではなく、周辺施設と一体的に交流を生むことで、スポーツによって発揮される効果も高まる。	
アリーナに関する検討は、相乗効果や回遊性、賑わいをどのように生んでいくかについての検討が重要である。			
施設計画案、検討ケースの評価について	ホールの機能・スペックについて	多くの市民が利用している既存ホールの機能を維持することは重要である。 市民文化会館を現況よりも使いやすくすることと、機能を増やしつつ、ゆとりある計画にすることは両立可能である。	本日の「資料 2 静岡市駿府町地区文化・スポーツ施設整備方針(案)」参照
	論点 3 稼げる施設／選ばれ施設	再整備を通して、稼げる施設を目指してほしい。	
	論点 4 交通アクセス／駐車場について	アリーナ機能の導入を行わない場合も、現在の市民利用を維持しつつ、新たに機能を加えることには限界がある。特に、交流人口増加のためには、交通面への影響が避けられないことが指摘されている。	
		ケース 4 についても、歩行者のアクセス環境を整えていくことを記載してほしい。	
	論点 5 事業費／民間事業者の参画	改修による再整備も、投資効果が認められるかという観点でケースの評価を行っていく必要がある。	
		長期間使い続けられる施設にするという項目が整備方針として掲げられるのであれば、改修・改築のライフサイクルコスト等を踏まえたトータルコストの比較検討も必要である。	
	論点 6 休館期間について	市民文化会館の稼働率は高く、その利用が 4 年半もの期間失われることは受け入れ難い。 ホール機能を別の場所に整備することで、休館期間をなくすという考え方もある。	
	論点 7 既存施設の機能維持	多くの市民が利用している既存ホールの機能を維持することは重要である。	
		既存機能の維持については、市民利用の観点から必要性が認められるが、更なる付加価値も必要である。	
	全般的な評価について	今後の検討は、既存施設改修案がベースとなるだろう。既存の市民文化会館のあり方については、一定数の利用者が存在するので良いという評価ではなく、どれだけ人を外から呼べるかという観点で評価を行うことが重要である。	
交流人口増加によって静岡のまちへの経済波及効果を生むためには、市外から来てもらえる催事が重要である。静的な催事や市民だけが楽しむ催事だけでなく、税金を投入して再整備を行う以上、新たな付加価値を生む再整備であってほしい。			
既存施設の改修による再整備の際には、計画地が持つ場所のイメージをどのように捉えるかが重要になる。名称や外観等も含め、市外の人を訪れたいイメージや歴史の重みを感じさせるものを付加することが望ましい。			
既存ホールの機能を維持しつつ、アリーナ以外の要素によって、市民文化会館を更に良い施設にしていくことも、検討を深めていくべき重要な視点である。			
整備方針(案)について	既存施設改修案については既存機能改修のみでなく、付加機能の検討が必要である。	本日の「参考資料 2 ホール施設の付加機能事例」参照	
	今年度の検討としては、既存施設改修案をベースとしたうえで、新たな機能の付加についての検討を深めていきたい。		
	施設整備のコンセプト等については、整備方針での具体的な記載がまだ行われていないため、修正・追加検討を行ってほしい。		
整備方針(案)について	整備方針については、エネルギーやコスト等の環境配慮に関する内容について具体的な記載を行うことが必要である。本整備方針では対応できない広域的な内容については、課題として別途まとめる必要がある。	本日の「資料 2 静岡市駿府町地区文化・スポーツ施設整備方針(案)」参照	
	ホテルの客室数がこの 2, 3 年で急増する予定であり、客室が埋まらないという状況が今後発生する可能性もある。整備方針をまとめる際は、市外から客を呼ぶことを意識してほしい。		